

[解答1]

(1) マグマ (2) マグマだまり (3) 溶岩 (4) ウ→ア→イ

[解答2]

(1)A 火山ガス B 火山弾 C 溶岩 (2) 火山噴出物 (3)① 圧力 ② ガス

[解答3]

(1) 鉱物 (2)A 長石 B 石英 C 黒雲母 (3) 長石 (4) 無色鉱物 (5) 有色鉱物

[解答4]

(1) 火成岩 (2) 深成岩 (3) 火山岩 (4) A (5) 石基 (6) 斑晶 (7)A 斑状組織 B 等粒状組織

[解答5]

(1) マグマのねばりけ (2)① C ② A ③ B

[解答6]

(1) マグマのねばりけのちがひ。(2) マグマのねばりけが弱い。(3)A キラウエア, 伊豆大島火山,  
マウナロア B 桜島, 富士山 C 雲仙普賢岳, 昭和新山, 有珠山

[解答7]

(1) マグマのねばりけ (2)A 黒色 B 灰色 C 白色

[解答8]

① 強い ② 白っぽい ③ 激しい

[解答1]

① 多く ② ねばりけ

[解答2]

① b ② c ③ a

[解答3]

① ア ② イ ③ イ

[解説]

無色鉱物が多いとマグマのねばりけが強く, 無色鉱物が少ないとマグマのねばりけが弱くなる。火山灰 Y は無色鉱物が少ないので, マグマのねばりけが弱いと判断できる。マグマのねばりが弱いと, 噴火はおだやかで, 溶岩は広がるように流れ, イのような形の火山になる。

[解答4]

(1) 55% (2)① 大きく ② 激しく爆発的な

[解説]

長石と石英は無色鉱物で, 角閃石と輝石とカンラン石は有色鉱物である。したがって,

火山A: 無色鉱物は  $77+5=82(\%)$ , 有色鉱物は  $12+6+0=18(\%)$

火山B: 無色鉱物は  $45+0=45(\%)$ , 有色鉱物は  $0+35+20=55(\%)$

である。無色鉱物の割合が大きいAはマグマのねばりけが大きく, 激しく爆発的な噴火になることが多い。

[解答5]

(1)A 火山岩 B 深成岩 (2)P 安山岩 Q 玄武岩 R 花こう岩

(3)① b, 長石② a, 石英 ③ c, 黒雲母 ④ d, 角閃石